



撮影：谷口洋人氏 提供
撮影場所：若葉

はさか
日本の原風景稲架掛け

米は世界の主食であり、世界人口の約半分の三十億の人々が食べている。人口は貧しい国を中心に年間一億人増加し続け、十億の人々が飢えている。異常気象による収量減や消費量の増、近年のバイオマス燃料の原料需要などのため、米、麦、大豆など、世界穀物の期末在庫量は、過去最低で危険水域に入り、国際的に穀物価格が高騰している。日本の自給率は異常に低く三十九%、世界史始まって以来の食料輸入超大国である。自給率向上に無関心、無関与の大多数の国民、利潤優先の企業体質、年間の菓子類購入額の半額にも満たない米の購入費、朝ご飯を食べない生活に疑問を持たない家庭など事態の深刻さに危機感はない。

過疎と高齢化、後継者不足、米など農産物の輸入自由化攻勢、農業政策の複雑化、価格の下落など、厳しい農業環境のなかでの実りの秋。新米を味わい、収穫を喜び、素直に自然の恵みに感謝出来る様にしたものである。

議会広報特別委員会
(稲村副委員長)

あ
と
が
き

私・の・好・き・な
瑞・穂・の・実・り